



市民協働サポートセンター
令和4年度運営報告

令和5年3月

特定非営利活動法人 長野県NPOセンター

目次

総 括 （令和4年度を振り返って）

令和4年度事業報告

（1）ネットワークの強化・拡大	1
（2）情報の収集・提供業務	3
（3）市民公益活動、団体運営等に関する相談及び調整	7
（4）団体・個人の育成	10
（5）市民公益活動の促進をはかるためのその他の事業	11
（6）施設管理業務	13
（7）添付資料	14

(1) ネットワークの強化・拡大

ア 団体間の交流事業の企画運営／カフェまんまる、SDGsまんまる、地域まんまる

＜事業目標＞

市民活動団体と企業や住民自治協議会・行政などが出会い連携・協働につながるきっかけ作りとして。また、市民活動団体と活動したい個人や個人事業主がつながり、団体が取り組む社会課題に出会い考える機会を創り出し、団体への共感と参画が生まれるきっかけ作りとして開催。同じ課題を多様な視点から見ることができ、団体の活動に深まりと発展を期待して、企画協力団体との協働で進める。

番号	タイトル		参加人数
	期日	会場	
	企画協力団体		
1	居場所をつなぐマップづくり		22 18団体
	6月26日(日)	県立長野図書館3階 信州・学び創造ラボ	
	(ゲスト)認定NPO法人こまちぷらす		
2	生命の安全教育が始まる前に		32 内オンライン15
	8月8日(月)	もんぜんぷら座304会議室	
	川中島の保健室		
3	身近にあるアップサイクルを体験しよう！		10
	10月29日(土)	アโดイングロ（東鶴賀町30）	
	(株)アโดイングロ・(一社)世界マザーサロン・鬼無里地区地域おこし協力隊		
4	寄付から始まる新たな可能性をさがそう！		31
	2月9日(木)	もんぜんぷら座304会議室	
	ながの協働ねっと		
5	地域まんまる×SDGsまんまる「地域づくり女しょ会議」		34
	3月8日(水)	もんぜんぷら座801会議室（オプション企画は駅前広場）	
	3.8国際女性デー長野プロジェクト		
合計			129

イ 市民公益活動の参加促進をはかる事業／まんまるサロン、機関誌発送サロンほか

＜事業目標＞

小さな力を集めてセンターの運営に関わる機会として、市民と市民活動団体や福祉事業所などふだん出会う機会のない人たちが交流する場として開催。

	テーマ		参加人数
	期日	会場	
1	ボランティアサロン		3
	4月26日	市民協働サポートセンター	
2	ボランティアサロン		4
	5月24日	市民協働サポートセンター	
3	ボランティアサロン		2
	6月28日	市民協働サポートセンター	
4	機関誌まんまる発送作業		3
	6月30日	市民協働サポートセンター	
5	ボランティアサロン		1
	7月26日	市民協働サポートセンター	
6	ボランティアサロン		3
	8月23日	市民協働サポートセンター	
7	ボランティアサロン		6
	9月27日	市民協働サポートセンター	
8	機関誌まんまる発送作業		3
	10月1日	市民協働サポートセンター	
9	ボランティアサロン		2
	10月25日	市民協働サポートセンター	
10	ボランティアサロン		2
	11月22日	市民協働サポートセンター	
11	機関誌まんまる発送作業		4
	12月27日	市民協働サポートセンター	
12	ボランティアサロン		12
	1月24日	市民協働サポートセンター	
13	ボランティアサロン		9
	2月28日	市民協働サポートセンター	
14	まんまるサロン		14
	3月8日	市民協働サポートセンター	
15	ボランティアサロン		9
	3月28日	市民協働サポートセンター	
合計			77

ウ 団体に関する情報収集および把握／団体の調査とデータベース作成

取材、訪問、相談等の際に団体の活動情報をセールスフォースに登録し、集約。センター内で共有できるようにする。また、地域活動支援課に情報を提供し、今後の市民活動支援につなげる。

訪問件数 120 件(取材・相談等すべて含む) (2022/4/1～2023/3/31)

<成果・課題と展望>

交流事業については、令和4年度は回数を減らし、企画協力団体との協働を深めることに注力した。そのため、それぞれの交流会でその後の展開があったことは収穫だった。居場所の交流会に参加した団体が、認定NPO法人こまちぷらす主催の講座「心地良い関りが生まれるカフェのつくり方」講座(共催：長野県NPOセンター、協力：市民協働サポートセンター)に参加、フォローアップの機会となった。その後Facebookグループで情報交換をしたり、個人で参加した人が実際に居場所を立ち上げたり、相談につながったり、成果も見えてきている。アップサイクル体験交流会では、地域おこし協力隊と参加団体が出会い、販売活動での連携が生まれるとの情報もある。また、寄付の交流会後、実際にクラウドファンディングを立ち上げ成功させた団体もあった。さらに、地域づくり女しよ会議は、企画協力団体と参加者が今後も交流するため、センターを拠点にしたサロンを企画中である。

交流会の企画には団体との関係構築と社会の動きにアンテナを張っておくことが重要となり、スタッフひとり一人の課題意識やコーディネーション力が必要となることから、今後も外部の研修や機関誌などの取材に積極的にでかけたい。そこで得た情報は随時データベースに記録し、団体のニーズ把握をし、センターの運営に活かしていく。

(2) 情報の収集・提供業務

<事業目標>

中心市街地に位置し、多くの人々が利用するもんぜんぷら座に設置されていることから、さまざまな団体の情報が市民に提供できる利点をもつセンターとして、掲示スペースも広く、広報効果は期待されている。また、ホームページやSNSを最大限に活用し、長野市はもちろん他市町村への周知を図り、市民活動団体の情報発信面の支援と、多様な市民の参画を作り出す。

ア 市民公益活動に関する情報の収集及び提供

- ◆ 機関誌の発行・配布(年4回以上)及びバックナンバーのホームページ公開
4月、7月、10月、1月発行。各1700部。配布件数1,951件、平均488件
※特集内容については添付を参照
※ホームページでバックナンバーを公開
- ◆ 団体及び関係機関が発行する機関誌の収集及び管理 207件(2022/4/1～2023/3/31)
- ◆ ホームページ、SNSなどを活用した情報発信及び管理運用
 - ・ ホームページを活用した情報発信件数 532件 (2022/4/1～2023/3/31)【前年比112%】
 - アクセス件数 67,292件(2022/4/1～2023/3/31)【前年比129%】

- ・ Facebook を活用した情報発信件数 667 件 (2022/4/1～2023/3/31) 【前年比 101%】
アクセス件数 108,308 件 (2022/4/1～2023/3/31) 【前年比 166%】
- ・ Instagram を活用した情報発信件数 104 件 (2022/4/1～2023/3/31) 【前年比 107%】
アクセス件数 17,167 件 (2022/4/1～2023/3/31) 【前年比 704%】

- ◆ その他、人材の紹介、助成金等活動資金、法務、財務会計その他団体運営のノウハウに関する情報の収集及び提供
 - ・ 助成金情報 受取件数 130 件 (2022/4/1～2023/3/31)
ホームページ・facebook 等を活用した情報発信及びセンター内掲示スペースでの掲示・配架、各団体への個別の案内を行った

イ 情報掲示板の管理(各団体のチラシ、ポスター等の掲示物の受付等)

チラシ・パンフレット等受取・配架・掲示件数 594 件(種類) (2022/4/1～2023/3/31)
【前年比 116.8%】

ウ 団体等にする情報提供、案内

窓口情報提供件数 2,115 件
電話・メール等での情報提供件数 3,014 件
訪問での情報提供件数 452 件
合計 5,581 件【前年比 98.8%】

エ 報道機関へのイベント情報提供

- ◆ 市民新聞「市民とNPOのひろば」「リレーコラム」編集委員会 年 12 回
- ◆ 市民新聞「市民とNPOのひろば」へのイベント取材記事とイベント情報提供(毎月第 1 火曜日掲載)

まんまる交差点		イベント数
4月	地域まんまる草刈り	24
5月	みちくさ～長命寺居場所プロジェクト～	24
6月	まるごとキャンパス説明会	24
7月	芋井草刈りバスターズ	23
8月	かえるのいえ	24
9月	不登校全国大会	24
10月	子ども・子育てフェスティバル	24
11月	松代寮×ヒオキ楽器	24
12月	NPOステップアップ講座 協働講座	23
1月	特集「若者の生きづらさ」	23
2月	まるごとキャンパス活動報告会	23
3月	NPOカフェまんまる 寄付交流会	23

- ◆ 市民新聞「リレーコラム」執筆者コーディネート、イベント各回2件情報提供(毎月第3土曜日掲載)

	リレーコラム 団体	執筆者
4月	ブルースカイ	松田恵子
5月	こすもけあ福社会	大久保千鶴
6月	学び舎めぶき	永井佐千子
7月	子どもたちへヨガを伝える会なごの	山口有佐
8月	いもい農場	西沢和宏
9月	ヒューマンネットなごの	川崎昭仁
10月	おっきいて	仁科賢人
11月	しののい軽トラ市実行委員会	東方みゆき
12月	ゆるーいおっさんの会	藤澤善博
1月	信州能力開発ネットワーク	小森広樹
2月	地球環境フォーラム長野	和田亨
3月	信州子ども食堂	町田千恵子

- ◆ FMぜんこうじ「長野市広報ふれ愛ガイド」への市民公益活動団体出演コーディネート

月	団体名	出演者
4月	一般社団法人信州親子塾	齋藤光代
5月	地域まるごとキャンパス実行委員会	亀垣嘉明
6月	ふぞろいのストロープロジェクト	塚田真由
7月	山新田活性化プロジェクト	戸井清水
8月	FICTS Nagano 実行委員会	土屋龍一郎
9月	長沼歴史研究会	笹井妙音
10月	一般社団法人ワンアンドオンリー	小森広樹・柴田美香
11月	となりのチカラ	西山良子
12月	NPO法人地球環境フォーラム長野	和田亨
1月	信州こども食堂	町田千恵子
2月	寄付の本舎 ほんのきもち	田中一樹
3月	市民協働サポートセンター	阿部今日子

＜成果と課題・展望＞

コロナ禍のため、イベントの減少は続いたが、特に後半は感染が拡大したにもかかわらず、団体ごとさまざまな工夫によってイベント等を再開する兆しもあった。そのため、チラシ等の受取件数は増えており、昨年度までと比較しても情報量は目に見えて多かった。また、当センター事業への参加者の様子を見ても、これまで対面で話す機会が減少していた反動か、リアル開催の講

座や交流会での参加者の熱量には目を見張るものがあった。

市民新聞・機関誌まんまるなどの取材については、秋ごろから新たな活動が立ち上がるなど相談等から得た情報をもとに、多くの市民に届けたい情報は発信できた。センターの情報を見て、団体についての問い合わせもあり、市民がアフターコロナを見据えて情報を得ようとしていることを感じた。

SNSのアクセス件数は前年比大幅増となった。これは、地域まるごとキャンパス等で動画を投稿した記事が、リール動画として繰り返し再生されたことによるものと思われ、意味のある数字としてとらえないこととしたい。ただし、ホームページについては、全面リニューアルにでやすくなったことと、法人のホームページやfacebookなどでシェアしたこと、助成金情報などの発信に力を入れたことなどが影響している。こちらについては今後もスピード感をもって発信を心がけ、よりタイムリーな情報が多くの市民に提供できるようにする。

(3) 市民公益活動、団体運営等に関する相談及び調整

<事業目標>

NPO法が施行されて25年となり、労働者協同組合法も動き出している中、社会・地域の課題解決をする主体は多様化している。それぞれの特徴を捉え、団体のニーズや全国の動きをキャッチしながら的確な情報提供やアドバイスをし、マネジメント等に悩む団体を支援する。また、連携協働を模索する行政・企業と市民活動団体や住民自治協議会をつなぎ、協働が生まれる土壌づくりをしていく。

ア 団体等からの各種相談受付、マネジメントに関する支援

イ 団体・個人のニーズに合わせたコーディネート

相談件数 343件（センター内132件・メール等124件・センター外67件）

【前年比137%】

※まちづくり活動支援事業補助金相談含む

※ながの地域まるごとキャンパス実行委員会への支援として事務局サポートを行った

ながの地域まるとキャンパス事業				
期日	内容	開催方法・場所	参加人数	
			リアル	オンライン
4月4日	提案団体向け説明会	ハイブリット(もんぜんぶら座)	0	5
4月21日	第一期プログラム審査会	ハイブリット(もんぜんぶら座)	5	2
4月28日	市立長野高等学校(学校説明会)	市立長野高校	160	
5月14日	地域まるとキャンパス学生向け説明会	ハイブリット(もんぜんぶら座)	13	5
5月16日	地域まるとキャンパス学生向け説明会	ハイブリット(もんぜんぶら座)	27	0
6月6日	長野女子高校学生向け説明会	長野女子高校	41	0
6月7日	プログラム提案団体向け説明会	ハイブリット(もんぜんぶら座)	0	3
6月9日	長野東高校(学生向け説明会)	長野東高校	0	200
6月21日	第二期プログラム審査会	ハイブリット(もんぜんぶら座)	6	2
7月7日	県立大学向け説明会	オンライン	0	31
8月23日	第三期プログラム審査会	もんぜんぶら座	5	0
9月20日	学生向け説明会	ハイブリット(もんぜんぶら座)	4	0
10月8日	学生向け説明会	ハイブリット(もんぜんぶら座)	9	0
1月14日	2022年度地域まるとキャンパス提案団体交流会	市生涯学習センター	12	0
1月14日	ユースリーチと地域まるとキャンパス報告会	市生涯学習センター	42	0
2月27日	実行委員会	もんぜんぶら座	5	0
計			329	248

地域まるごとキャンパス2022 プログラム・団体一覧				
	団体名	プログラム名	分野	参加者 (延べ)
1	FICTS Nagano実行委員会	NAGANO International FICTS Festival国際映画祭を体験しよう	国際	2
2	Green Style Forest	ふぞろいのストロープロジェクト	環境	6
3	Hope Apple(穂保被災者支援チーム)	被災地長沼の復興大作戦 第二弾！	被災地支援	8
4	I Tサポート銀のかささぎ	I C T学習支援を児童養護施設や子ども食堂でやってみよう	子ども	5
5	飯綱高原よっころしょ	飯綱高原で里山を創ろう～農場体験・ヤギプロジェクト・くらふと工房～	里山活性化	6
6	子どもたちへヨガを伝える会 ながの	子ども向けヨガを体験しPRしよう	子ども	1
7	裁松院	子育て地藏盆もりあげ隊★	子ども	8
8	しののい軽トラ市実行委員会	篠ノ井がもっと楽しくなる軽トラ市を考えよう！	まちづくり	0
9	市民協働サポートセンター	地域まるごとキャンパス向上委員会♡	パートナーシップ	4
10	天空の里いもい農場	『バスに乗ってこねえかい！』～限界集落で高生大と取り組む食農体験&子どもの居場所づくり～	里山活性化	9
11	ながのTV	生放送「長野ボランティアステーション」のスタッフになろう！	まちづくり	2
12	ながのこどもの城いきいきプロジェクト	ながのこどもわくわくカフェ	子ども	3
13	ながのこどもの城いきいきプロジェクト	こども広場じゃん・けん・ぽんで子育て親子を応援！	子ども	5
14	長野市開発公社 (長野市茶臼山動物園)	【大学生限定】茶臼山動物園「サマーナイトZOO」「ドリームナイト・アット・ザ・ズー」を成功させよう！	動物	3
15	長野灯明まつり実行委員会	長野を代表するまつり「長野灯明まつり」の企画員を大募集！！	まちづくり	5
16	ながの環境パートナーシップ会議	「ながの環境団体大集合」を一緒に創ろう！！	環境	0
17	西之門青年部	西之門 こどもレストランを運営しよう！	まちづくり	8
18	にっこりひろば	居場所サポーター@にっこりひろば	子ども	11
19	みちくさ	長命寺居場所づくりプロジェクト	まちづくり	1
20	みどりの市民	「エシカル消費 知っている？実践している？」 アンケート調査活動	環境	0
21	みどりの市民	エシカルふえすYouTubeでもりあげ隊	環境	1
22	山新田活性化プロジェクト	北信五岳・長野市内を望む絶景「山新田地域」の花木公園を整備PRしよう！	里山活性化	2
23	楽市楽座でつなぐ会	屋代駅前商店街のお祭り「楽市楽座」をもりあげよう！	まちづくり	11
24	回る回るハウス実行委員会	回る回るハウスを運営し、「資源の循環」を楽しもう！	子ども	8
25	災害共生支援機構from	学生防災リーダーになろう！	被災地支援	2
26	社会福祉法人長野県社会福祉協議会	ユーチューバーになって共生・福祉をPRしよう！	福祉	2
27	信州そるがむで地域を元気にする会	ソルガムを通してゼロカーボンを学ぼう！	環境	2
28	信州子育てみらいネット	新しい子育て支援のカタチ・オンライン保育園プロジェクト	子ども	5
29	信州能力開発ネットワーク	ノウフクって？農業×福祉を体験しよう！	福祉	0
30	善光寺びんずる市実行委員会	こびんずる隊に参加しよう！	まちづくり	13
31	大豆島地区住民自治協議会	KIDSとあそぼう！夏のまめっ子サロン	子ども	2
32	第三地区住民自治協議会	第三地区のお祭りスタンプラリー・ふれあい避難所体験企画に参画しよう！	まちづくり	11
33	長野県里親支援専門相談員北信地区連絡会	じぶんのカタチワークショップ×里親のこと（コラボ里親カフェ）～親子で描く一枚の絵～with TOMOYA ARTS	福祉	2
34	長野市商工労働課	放課後や休日楽しめる“お店”を考えるプロジェクト！	まちづくり	5
35	直富商事	花壇の花植えを通して環境美化・企業と地域の関わりを学ぼう！	環境	3
		合計		156

ながの地域まるとキャンパス2022 参加者内訳					
参加者※実数		学校別(高校)		学校別(大学)	
高校生	134	県立長野高校	5	長野県立大学	11
大学・専門学校生	16	長野西高校	6	清泉女学院短期大学	3
計 ※重複除く	150	文化学園長野高校	47	清泉女学院大学	0
		長野日大高校	2	國學院大学栃木短期大学	1
		篠ノ井高校	33	長野県福祉大学校	1
		市立長野高校	27	その他	0
		清泉女学院高校	3	計	16
		須坂高校	1		
		第一学院高校	2		
		長野女子高校	0		
		吉田高校	0		
		長野俊英高校	0		
		屋代高校	6		
		長野商業高校	0		
		長野東高校	0		
		丸子修学館	0		
		稲荷山養護学校	2		
		計	134		

ウ 長野市が実施する「ながのまちづくり活動支援事業」に関する業務

- ◆ 募集情報の提供
随時地域活動支援課からの情報をホームページ・SNS・一斉メール等で発信するとともに、過去に助成金等の相談や資金調達の課題を抱える団体には個別に発信した。
- ◆ 応募に関する相談対応
上記相談件数に含む
- ◆ 採択団体からの運営等に関する相談対応
採択後の相談には随時対応した

<成果・課題と展望>

相談内容は多岐にわたっており、センタースタッフがもつネットワークが問われることが多くなっていると同時に、スタッフ自身がつながっていない資源や人材を発掘する機会にもなっている。ホームページや口コミなどでセンターを知り相談に来たり、センターを良く知る人からの紹介等でつながることもあり、日頃から市民活動団体や個人などとの顔の見える関係づくりは重要である。また、担当課以外の市の各課とのつながりも少しずつ増え、まるとキャンパスや講座・交流会での連携も広がっている。

企業からの社会貢献事業の相談や、個人事業主が自分の店舗を活用して地域の居場所を創りたいなどの相談も出てきており、市民公益活動団体以外の多様な主体との関りが重要となってきたため、機関誌の設置や取材などを通して関係づくりを今後もしていきたい。

一方極個人的な相談やまるとを居場所として使用する人たちもいることから、昨今の国の動きである「孤立孤独の解消につながる活動」の一つである「居場所」にクローズアップして活動

者や団体を掘り起こしや事業を通して「居場所」づくりへのアプローチも必要ではないか。昨年度は、認定NPO法人こまちぷらすが展開する講座に協力したことで新たな居場所も生まれているが、センターの独自事業としても企画を考え、そのような社会のニーズに応えられる活動を創り出していきたい。

「地域まるごとキャンパス」については、協働ねっと事業から切り離し、センターの相談事業の中で支援するという形で継続してきたが、令和5年度からは市の事業となることが決定した。センター事業ともうまく連携しながら継続していく。

（４）団体・個人の育成

＜事業目標＞

団体運営に必要な広報などスキルを提供する講座と、「資金調達」や「協働」などマネジメント面での学びの場を提供。団体の成長につなげる。また講座内ではワークショップ形式を可能な限り取り入れ、出会いの場となるような企画も心がける。

◆ 各種講座等の開催

NPO初歩講座	
日時	参加人数
4月23日(土)10:30～12:30	7
11月30日(水) 18:30～20:30	4
2月25日(土) 13:30～15:30	9
合計	20

NPOステップアップ講座			
	タイトル／内容		参加人数
	期日	会場	
	講師		
1	広報講座「チョコチョコ動画で素早くカンタンに発信力アップ！」		11
	6月4日(土)	304会議室	
	寺澤順子さん（ソーシャルデザインセンター）		
2	NPOステップアップ講座「助成金に挑戦！」		22 内オンライン10
	9月11日(日)	もんぜんぷら座 304 会議室	
	山田泰久さん（一般財団法人非営利組織評価センター常務理事）		
3	地域づくり講座「協働を改めて考える　ぼくらの協働を探す旅に出かけよう！！		44 内オンライン7
	11月23日(水・祝)	もんぜんぷら座 304 会議室	
	長浜洋二さん(モジョコンサルティング合同会社)		
4	NPOステップアップ講座「会計・税務お悩み相談会」		6 4団体
	3月11日（土）	もんぜんぷら座303会議室	
	北原 正明さん（税理士法人 成迫会計事務所 税理士）		
合計			83 内オンライン17

特別企画			
	小規模多機能自治 ゆるっと勉強会		14
	9月16日(金)	オンライン	8団体

長野県 県民協働課主催講座 サテライト会場			
1	県主催 NPO法人解散セミナー		1
	8月10日(水)	サテライト	
	宮川洋一さん（司法書士）、弓場法さん（公認会計士・税理士）、県民協働課		
2	県主催 NPO運営セミナー「法人経営をアップデート」		1
	1月30日（日）	サテライト	
	長野県県民文化部県民協働課		
3	県主催 NPO運営セミナー「NPO法人と税金」		1
	2月10日（金）	サテライト	
	井原正人さん(関東信越税理士会長長野県支部連合会)・国税局		
3	県主催 NPO運営セミナー「わかりやすい事業報告書の作り方」		3
	3月14日（火）	サテライト	
	栗津知佳子さん（長野県N P Oセンター）		
合計			6

＜成果・課題と展望＞

限られた予算の中で、団体にとって有益な学びを提供するためには、他団体等との協働での開催が有効である。今年度は、「地域づくりネットワーク長野県協議会長野支部」との協働により「協働を改めて考える ぼくらの協働を探る旅にでかけよう!!」を開催できたことは成果であった。ネットワークに参画する団体からの参加や事例の提供もあり、40人を超える参加者が集い、学びあう熱量は目を見張るものがあった。講師からも今後長野市でもさらに協働が進んでいくことに期待するというメッセージをいただいた。

また、9月には、2019年度に長野県社会福祉協議会と協働で開催したI I H O E[人と組織と地球のための国際研究所]川北秀人さんの講座後、動きのあった住民自治協議会等が少人数でその後の状況を共有する勉強会を開催した。その流れで川北さんが提唱する小規模多機能自治のための各地区の情報交換の場を模索したが、調整がつかず断念した。来年度はぜひ、地域まんまるの枠で「地区自慢大会」として開催したい。

(5) 市民公益活動の促進をはかるためのその他の事業

ア センターの利用促進を図るための情報発信

- ・ センターの日常の様子などをSNSを通じて発信 件数は情報提供発信数に含む
- ・ 訪問での取材や機関誌配布などを通して、センターの活動について周知
- ・ 交流会・講座などの開催については、プレスリリースをし、メディアへのはたらきかけを行った

2022年度 まんまる事業関連での取材・掲載記録			
日	メディア名	事業名	掲載日 放送日
5月7日	長野市民新聞	反戦の木	
5月11日	信濃毎日新聞	反戦の木	5月12日
5月12日	INCながのケーブルTV	ひまわりの種サロン	5月24日
	市民新聞	NPOステップアップ講座「チョコチョコ動画で素早く簡単に発信力アップ」前記事	5月21日
7月25日	信濃毎日新聞	NPOカフェまんまる「いのちの安全教育が始まる前に」前記事	7月29日
8月8日	信濃毎日新聞	NPOカフェまんまる「いのちの安全教育が始まる前に」	8月10日
8月25日	市民新聞	スタッフ紹介	8月27日
11月23日	中日新聞	地域づくり講座「ぼくらの協働を探す旅にでかけよう!」	
	週刊長野	地域まるごとキャンパス報告会 前記事	12月31日
	信濃毎日新聞	地域まるごとキャンパス報告会 前記事	1月12日
2月24日	長野市民新聞	地域まんまる×SDGsまんまる「地域づくり女しょ会議」前記事	
2月28日	信濃毎日新聞	地域まんまる×SDGsまんまる「地域づくり女しょ会議」前記事	3月3日
	週刊長野	地域まんまる×SDGsまんまる「地域づくり女しょ会議」前記事	3月4日
3月8日	長野市民新聞	地域まんまる×SDGsまんまる「地域づくり女しょ会議」	
3月8日	須坂新聞	地域まんまる×SDGsまんまる「地域づくり女しょ会議」	3月18日
3月8日	信濃毎日新聞	地域まんまる×SDGsまんまる「地域づくり女しょ会議」	
3月8日	読売新聞	地域まんまる×SDGsまんまる「地域づくり女しょ会議」	
3月8日	NHK	地域まんまる×SDGsまんまる「地域づくり女しょ会議」	3月8日
3月8日	SBC	地域まんまる×SDGsまんまる「地域づくり女しょ会議」	3月8日

センターの活動を県内外の団体が視察に訪れた

視察・インターン等受け入れ記録	
日	団体名
7月15日	神戸市西区社会福祉協議会
9月9日	認定NPO法人こまちちぶらす
9月11日	長野大学 インターンシップ受け入れ
9月14日	長野大学 インターンシップ受け入れ
10月17日	飯田市共生協働推進課・一社南信州基金

イ 団体活動のための展示スペースの提供

- ◆ 市内で活動する団体の資金調達のための商品の展示や購入希望の方のコーディネート
- ◆ 掲示スペースを貸し出し、活動報告などの展示場所を提供
 - ・ 展示スペースの貸し出し 1件 2月25日～3月10日 国際女性デー長野プロジェクト「ジェンダーを考えるパネル展」
 - ・ 商品の紹介 14団体



ウ 新たな事業の提案

特になし

(6) 施設管理業務

ア 利用統計の作成

毎月の利用統計を作成、合同ミーティングにて報告

センター総利用者数 7,436人、(センター内 5,952人、センター外 1,484人)

【昨年比 82.3%】

※昨年度までは、協働ねっと事業として地域まるとキャンパス事業の学生説明会等の人数(実績 1,587人)がカウントされていたが、今年度は相談記録として残すのみであったこと、定年後の男性のための「おじさんまんまる」(参加者実績 131人)が団体として自立したことで利用者数が大幅減少している。

イ 情報交換スペースの管理

団体支援のため、まんまるテーブルを貸し出し 34件 165人

ウ 備品類の管理

センター内の備品類については、適正に管理した

<成果と課題・展望>

人が集まることへの抵抗感が少しずつ薄れ、センター主催のイベント以外にもセンターの利用数は回復をしてきている。ふらっと立ち寄り情報交換や問合せをする人たちからの情報は市内の市民活動の状況を知るうえで大切なものとなっている。新型コロナウイルス感染症の5類引き下げやマスク着用の緩和などもんぜんぶ座全体にもぎわいを取り戻している。今後止まっていた活動が動き始める際には、かなりの力を要することも考えられることから、各団体からの相談やニーズをしっかりとキャッチして市民活動の再起動を後押ししたい。